

令和3年度 第1回 岡山県事業評価監視委員会 議事要旨

○開催概要

- 1 日 時 令和3年8月23日（月）13:30～16:30
- 2 場 所 メルパルク岡山「芙蓉」
- 3 出席者 岡山県事業評価監視委員会 委員 6名
土木部 技術総括監
農林水産部 参事（農林技術）
事務局（技術管理課、農政企画課）
道路建設課、道路整備課、河川課、防災砂防課、港湾課、
都市計画課、耕地課、水産課

○議事概要

- 1 開 会
- 2 挨拶（土木部 技術総括監）
- 3 事前評価

(事務局)	<p>令和3年度の事前評価対象事業の概要説明 (土木部関係7件) 道路事業</p> <p>①県道 矢掛寄島線 浅口市鴨方町六条院西 地内 工 種：道路改良（バイパス） 概 要：L=760m W=6.5(15.0)m 事 業 費：約9.0億円 事業期間：8年間 事業目的：国道2号玉島・笠岡道路の鴨方 IC（仮称）へのアクセス向上及び寄島干拓地等における企業立地や物流の効率化並びに関係市町が進める新たなゴミ焼却施設の利便性向上を図る。 評価結果：7A/5C</p> <p>②県道 上横野兼田線 津山市高野山西～押入 地内 工 種：道路改良（バイパス） 概 要：L=1,280m W=6.0(14.0)m</p>
-------	---

<p>(事務局)</p>	<p>事業費：約 28.0 億円 事業期間：8 年間 事業目的：津山中央病院への道路ネットワーク強化による 県北地域の救急医療体制の充実及び周辺道路の渋滞緩和や歩行者等の安全確保を図る。 評価結果：7A/5C</p> <p>砂防事業</p> <p>③加茂川支流 津山市加茂町桑原 地内 工 種：砂防 概 要：砂防堰堤 1 基 事業費：約 1.8 億円 事業期間：6 年間 事業目的：保全対象である人家 30 戸、中学校と武道館（指定避難所）及び JR 因美線、県道津山智頭八等線（第 2 次緊急輸送道路）等への土石流災害の防止及び被害の軽減を図る。 評価結果：8A/5C</p> <p>④家奥川・實塔川 苫田郡鏡野町富西谷 地内 工 種：砂防 概 要：砂防堰堤 2 基 事業費：約 3.5 億円 事業期間：8 年間 事業目的：保全対象である人家 23 戸及び小学校（指定避難所）等への土石流災害の防止及び被害の軽減を図る。 評価結果：8A/5C</p> <p>⑤水谷川 真庭市神代 地内 工 種：砂防 概 要：砂防堰堤 1 基</p>
--------------	---

<p>(事務局)</p>	<p>事業費：約4.1億円 事業期間：7年間 事業目的：保全対象である人家30戸及び国道181号（第1次緊急輸送道路）、県道等への土石流災害の防止及び被害の軽減を図る。 評価結果：7A/5C</p> <p>⑥奥谷川 美作市梶並 地内 工 種：砂防 概 要：砂防堰堤1基 事業費：約2.1億円 事業期間：6年間 事業目的：保全対象である人家40戸及び美作市勝田総合支所梶並出張所(指定避難所)、老人ホーム（要配慮者利用施設）、高齢者福祉施設（要配慮者利用施設）等への土石流災害の防止及び被害の軽減を図る。 評価結果：8A/5C</p> <p>⑦北木島港海岸本浦地区 笠岡市北木島町 地内 工 種：海岸保全施設（高潮対策） 概 要：延長L=850m（護岸工、胸壁工） 事業費：約8.9億円 事業期間：11年間 事業目的：家屋が密集し、市の指定避難所や島内唯一の幹線道路である県道北木島線を背後に有することから、高潮対策により背後地を浸水被害から防護する。 評価結果：8A/5C</p>
--------------	---

<p>(事務局)</p>	<p>令和3年度の事前評価対象事業の概要説明 (農林水産部関係2件) 農業農村整備事業</p> <p>①長谷池地区 和気町保曾 地内 工 種：防災事業(ため池) 概 要：ため池改修 1箇所 事業費：約2.5億円 事業期間：4年間 事業目的：老朽化した農業用ため池を改修することにより、決壊による被害を未然に防止するとともに、受益農地への農業用水の安定供給を図る。 評価結果：7A/4C</p> <p>②真備別所池地区 倉敷市真備町市場 地内 工 種：防災事業(ため池) 概 要：ため池改修 1箇所 事業費：約1.7億円 事業期間：4年間 事業目的：老朽化した農業用ため池を改修することにより、決壊による被害を未然に防止するとともに、受益農地への農業用水の安定供給を図る。 評価結果：6A/4C</p>
<p>(委員)</p>	<p>砂防事業により人命を守ることと併せて、山全体の植生によって保水機能を高めることができないか。</p>
<p>(防災砂防課)</p>	<p>保安林等がある箇所では、治山事業による対策も行われている。砂防・治山で連携して対策を進めたい。</p>

(委 員)	ため池整備における費用負担はどうなっているか。
(耕 地 課)	農家の負担金については、各市町村により決められている。
(委 員)	溪流の荒廃状況について、現状を把握しているか。
(防災砂防課)	H 2 8 年度以降の調査状況写真により確認している。
(委 員)	できるだけ直近の写真で説明をお願いします。
	砂防堰堤を整備した後に、地元の方が山を手入れしている状況の写真等も整理しておくが良い。
(委 員)	県の評価は妥当としてよろしいか。
(委 員)	県の評価は妥当であるとする。
(道路建設課)	<p>②県道上横野兼田線 津山市高野山西～押入</p> <p>県道上横野兼田線は、県北東部の津山市中心部に位置しており、市北部の上横野地内を起点として、市街地の川崎地内に至る延長約 10 k m の道路で、地域間の連携や日常生活を支える重要な路線である。</p> <p>現道は、幅員狭小による混雑や車輛すれ違い困難、朝夕の通勤・通学時における渋滞、歩行者等の交通安全上の課題、救急医療施設へのアクセス性や搬送時間短縮など多くの課題を抱えており、あわせて地震災害時における輸送路などの防災上の課題を解消するため、バイパス整備を行うものである。</p> <p>整備効果としては、混雑、渋滞の緩和、歩行者等の安全の確保、交通機能の改善など、また、県北唯一の第三次救急医療施設への道路ネットワークの強化や県北地域の救急医療体制の充実のほか、津山市東部地域の商工業集積エリアの生産性や拠点性の向上などが期待される。</p>

	<p>本事業の計画延長は、1,280m、単路部の幅員につきましては、3.0mの車道を2車線、3.5mの自転車歩行者道を両側に設置する計画としており、総幅員は、14.0mとなる。</p> <p>主要構造物としては、蟹子川を渡る橋を2橋、中国縦貫自動車道の下を通過する函渠（ボックスカルバート）を整備する予定としており、事業費28億円、事業期間は令和4年度から令和11年度までの8年間を見込んでいる。</p> <p>走行時間の短縮便益、走行経費の減少便益、交通事故の減少便益の三便益と事業費、維持管理費の合計から算出する費用対効果（B/C）は1.81となる。</p> <p>評価結果は、事業の必要性が7A、事業化熟度が5Cで事業化の要件を満たしており、整備効果も期待されることから事業着手したいと考えている。</p> <p>（ 委 員 ） 将来交通量8,700台/日としているが、人口減少等を織り込んでいるか。</p> <p>（道路建設課） 交通量については、道路網において整備する道路の条件、規制速度等を考慮し、将来的な交通量の転換を予測している。予測条件として将来人口も反映されていると考えている。</p> <p>（ 委 員 ） 水害に対する検討はどうなっているか。</p> <p>（道路建設課） 蟹子川に架ける2橋は、川の計画断面を基に高さ等を計画するため、将来的に川の改修があったとしても再度工事が必要になることは無く、浸水することもない。</p> <p>加茂川沿線には一部浸水想定区域があるものの、バイパスルート上は該当していない。細かな数字は今後の詳細設計で決定することになるが、バイパスが浸水することは想定していないため、緊急時にはアクセス道路として機能すると考えている。</p>
--	---

(委 員)	<p>費用便益分析を行うに当たり、考慮した周辺道路とはどこのことか。</p> <p>バイパス整備後、現道はどうなるのか。</p>
(道路建設課)	<p>新しくバイパスができることで交通量変化の影響がおよぶエリアを決め、その効果を集計する。この集計が時間短縮便益等に影響することとなる。</p> <p>バイパス整備によって、現道の交通量が減少すると予測しており、整備後は津山市に現道の管理を移管することとしている。</p>
(委 員)	<p>周辺道路については、広範囲に何本かの路線を想定しており、現道については、県から市へ管理移管するため、今回の計算には関係ないということか。</p>
(道路建設課)	<p>現道の交通量は、バイパス整備によって、約6,400台/日から約1,500台/日程度まで減少すると予測しているため、地域内道路として津山市に管理をお願いすることとしている。</p>
(委 員)	<p>現道が市へ移管され交通量が減少すると、地元から歩道整備等の要望が出て、別のコストが生じるのではないかと考えた。</p>
(委 員)	<p>現道拡幅の場合の事業費はどの程度か。</p>
(道路建設課)	<p>現道拡幅の事業費は約33億円を想定している。</p>
(委 員)	<p>バイパス整備のほうが現道拡幅よりも経済的ということか。</p>
(道路建設課)	<p>ご認識のとおり。</p>

(委 員)	バイパス予定地は、道路ではなく田んぼか。
(道路建設課)	バイパス計画箇所については、田んぼが主である。現在は道路に面した部分はほとんど無い。
(委 員)	バイパス整備による農作物の作付面積の減少や生産量の大幅な低下などの支障を検討しているか。
(道路建設課)	計画している道路は、全幅約14m、延長約1kmであり、約1万4,000m ² であるため、全体から見れば少量と考えており、道路建設によって耕作面積、生産量が大きく影響を受けるとは考えにくい。
(委 員)	分かった。
(委 員)	この農地は市街化区域ではなく、農業振興地域か。
(道路建設課)	市街化区域ではない。
(委 員)	道路が通れば農業振興地域ではなくなり、農地を所有する人の税金の負担が増えることになる。農協等の農業団体はどう考えているのか。農地に道路が通れば農業が衰退する。農林水産部の考えはどうか。
(道路建設課)	道路が出来れば、沿線の税金にも影響があることも含め、地元の方に道路の必要性、整備の目的等を十分に説明した上で、ご理解頂きながら道路事業を進めて行くべきと考えている。 道路建設が、エリアの農地減少等によって農協等へも影響することなどについては、今後検討も進めたい。
(委 員)	農林水産部と協力し、道路建設と農業振興を併せて検討し

<p>(土 木 部)</p> <p>(委 員)</p> <p>(委 員)</p>	<p>てほしい。</p> <p>このエリアは、津山市が立地適正化計画の中で、住居ゾーンとしての将来土地利用を見込んでおり、この道路が構想を担うことになる。現状は農地だが、今後都市的な土地利用に向けたプランがあるため、市を交えて農林水産部と調整していく。</p> <p>県の評価は妥当としてよろしいか。</p> <p>県の評価は妥当であるとする。</p>
--	--

5 再評価

<p>(事務局)</p>	<p>令和3年度の再評価対象事業の概要説明 (土木部関係12件、農林水産部関係1件、笠岡市1件)</p> <p>(1) 事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業</p> <p>道路改良事業</p> <p>① 県道 宍粟真備線 位置：総社市下原～倉敷市真備町辻田地内</p> <p>② 県道 東水砂矢掛線 位置：小田郡矢掛町西川面～東川面地内</p> <p>海岸保全施設整備事業</p> <p>③ 牛窓港海岸 牛窓地区 位置：瀬戸内市牛窓町牛窓地内</p> <p>④ 東備港海岸 片上地区 位置：備前市西片上地内</p> <p>岡山県南広域都市計画事業</p> <p>⑤ 都市計画道路 早島大砂線 位置：都窪郡早島町早島～倉敷市鳥羽地内</p> <p>海岸保全施設整備事業</p> <p>⑥ 朝日漁港海岸 位置：岡山市東区宝伝地内</p> <p>(2) 再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業</p> <p>道路改良事業</p> <p>⑦ 県道 矢掛寄島線 位置：浅口市寄島町地内</p> <p>交通安全事業</p> <p>⑧ 県道 笠岡美星線 位置：笠岡市小平井～吉田地内</p> <p>河川改修事業</p> <p>⑨ 二級河川笹ヶ瀬川水系 足守川 位置：岡山市南区古新田～北区栗井地内</p>
--------------	--

	<p>⑩二級河川倉敷川水系 倉敷川（六間川） 位置：岡山市南区西高崎～倉敷市藤戸地内</p> <p>港湾整備事業</p> <p>⑪地方港湾 笠岡港 位置：笠岡市鋼管町地先</p> <p>（３）知事が特に再評価の必要があると認める事業</p> <p>道路改良事業</p> <p>⑫地域高規格道路 美作岡山道路 位置：岡山市東区瀬戸町塩納 ～勝田郡勝央町黒土地内</p> <p>⑬県道 六条院東里庄線 位置：浅口市鴨方町六条院西 ～浅口郡里庄町新庄地内</p> <p>市町村事業</p> <p>⑭市道 茂平 148 号長瀬苦無線 位置：笠岡市茂平地内</p> <p>（ 委 員 ）</p> <p>⑨足守川について、工区の進捗率が 95% から 60% に下がっている理由と、工区の事業期間が延びるにも関わらず、全体の事業期間が変わらない理由は。</p> <p>⑩倉敷川（六間川）についても、暫定の事業期間が伸びるにも関わらず、全体の事業期間が変わらない理由を確認したい。</p> <p>⑪笠岡港について、進捗率が 99% まで来ているのに、事業期間が 5 年延びる理由を教えてください。</p> <p>（ 河 川 課 ）</p> <p>⑨足守川について、詳細調査の結果、漏水対策として護岸ブロックと遮水シートを追加したため、工区内の事業費が 23 億円から 31 億円に増大したため、進捗率が低下した。</p> <p>工区の事業期間は延びているが、全体の事業期間について</p>
--	---

	<p>は、作成済みの笹ヶ瀬川整備計画により完成年を定めていることから、令和17年としている。</p> <p>⑩倉敷川についても、暫定の事業期間を令和12年まで延ばしているが、暫定後の事業期間短縮に努めることにより、全体の事業期間は令和25年までとしている。</p> <p>⑪笠岡港について、浚渫土処理護岸の残り1%は護岸背後の水叩き工であるが、浚渫土の搬入により地面の高さが上がらなければ施工できないものである。浚渫土の搬入量が予想を下回っているため、期間を5年延長したいと考えている。</p> <p>再評価審議案件の抽出結果 (令和3年度再評価対象事業14件から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道路改良事業 県道 宍粟真備線 ○海岸保全施設整備事業 牛窓港海岸 牛窓地区 ○岡山県南広域都市計画事業 都市計画道路 早島大砂線 ○道路改良事業 地域高規格道路 美作岡山道路 <p>(委 員) 早島大砂線について、地域特性を考慮すると軟弱地盤であることを予見できたのではないかと考えるが、最初から地盤調査をしていない理由は。</p> <p>(都市計画課) 事前評価時点では概略設計を実施しており、事業化後に詳細な地盤調査を実施している。予見できなかったかについては、確認の上報告したい。</p> <p>(委 員) この委員会で明らかになった問題点は、再度同様の事態が起きることの無いよう、担当部署の中で後年に伝える必要があると考える。</p>
--	---

5 進捗状況報告

(事務局)	<p>再評価後2年を経過した事業の進捗状況報告(17件)</p> <p>①道路改良事業 県道 岡山赤穂線 位置：和気郡和気町藤野地内 事業期間：平成21年度～令和3年度 進捗率：98%</p> <p>②道路改良事業 県道 加須山中帯江線 位置：倉敷市加須山～亀山地内 事業期間：平成11年度～令和4年度 進捗率：97%</p> <p>③河川改修事業 一級河川 干田川 位置：岡山市東区西大寺浜～瀬戸内市長船町飯井地内 事業期間：昭和44年度～令和15年度 進捗率：91%</p> <p>④河川改修事業 一級河川 千町川 位置：岡山市東区西大寺浜～瀬戸内市邑久町本庄地内 事業期間：昭和61年度～令和15年度 進捗率：91%</p> <p>⑤河川改修事業 一級河川 砂川(下流) 位置：岡山市東区金田～赤磐市正崎地内 事業期間：昭和57年度～令和25年度 進捗率：46%</p> <p>⑥河川改修事業 二級河川 笹ヶ瀬川 位置：岡山市南区藤田～北区一宮地内 事業期間：昭和63年度～令和25年度 進捗率：33%</p>
-------	--

	<p>⑦河川改修事業 二級河川 幸崎川 位置：岡山市東区南水門町～宿毛地内 事業期間：昭和 46 年度～令和 15 年度 進捗率：67%</p> <p>⑧河川改修事業 一級河川 小田川 位置：倉敷市真備町妹～井原市芳井町吉井地内 事業期間：昭和 51 年度～令和 20 年度 進捗率：76%</p> <p>⑨河川改修事業 一級河川 新本川 位置：総社市池田～高本地内 事業期間：昭和 63 年度～令和 1 年度 進捗率：100%</p> <p>⑩河川改修事業 二級河川 今立川 位置：笠岡市富岡～今立地内 事業期間：昭和 60 年度～令和 5 年度 進捗率：78%</p> <p>⑪河川改修事業 一級河川 吉井川 位置：和気郡和気町塩田～苫田郡鏡野町原地内 事業期間：昭和 13 年度～令和 20 年度 進捗率：82%</p> <p>⑫河川改修事業 一級河川 宮川 位置：津山市上河原～津山市東一宮地内 事業期間：昭和 59 年度～令和 5 年度 進捗率：98%</p> <p>⑬河川改修事業 一級河川 皿川 位置：津山市福田地内 事業期間：昭和 16 年度～令和 5 年度 進捗率：44%</p>
--	--

	<p>⑭河川改修事業 一級河川 備中川 位 置：真庭市落合垂水～宮地地内 事業期間：昭和 48 年度～令和 20 年度 進 捗 率：56%</p> <p>⑮河川改修事業 一級河川 滝川（下流） 位 置：勝田郡勝央町東吉田～畑屋地内 事業期間：昭和 52 年度～令和 7 年度 進 捗 率：86%</p> <p>⑯高潮対策事業 建設海岸 三幡九幡海岸 位 置：岡山市東区九幡～沖元地内 事業期間：昭和 50 年度～令和 16 年度 進 捗 率：74%</p> <p>⑰道路改良事業 地域高規格道路 北条湯原道路 位 置：真庭市蒜山初和～蒜山下長田地内 事業期間：平成 24 年度～令和 3 年度 進 捗 率：99%</p>
(河 川 課)	<p>進捗率の低い事業報告 ⑥河川改修事業 二級河川 笹ヶ瀬川</p>
(委 員)	<p>事業期間の増減の大きい事業報告 ⑬河川改修事業 一級河川 宮川</p>
(委 員)	<p>笹ヶ瀬川について、限られた予算の中での計画に対しての進捗を説明し、その問題点等を説明すべき。</p>
(委 員)	<p>今のペースでは、令和 25 年度に進捗率 100%は困難に見えるが、どこかの段階で加速して進むのか、それとも達成不可能と考えているのか。</p>
(河 川 課)	<p>加速度的に事業進捗が上がっていくような具体的な計画は持っていないが、河川整備計画で示している令和 25 年度に向けて進めている。 河川整備計画を見直す場合には、改めて検討したい。</p>

(委 員)	河川整備計画は、達成することを前提にしていないものか。
(河 川 課)	達成を前提としていない計画ではなく、達成を目指して進めており、今後の整備方針は再度精査したい。
(委 員)	事前評価資料において、事業費や事業期間の変動リスクを明示することが必要だと考える。

6 閉会